

研究・調査報告書

報告書番号	担当
265	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and mortality in patients with cardiovascular disease: a meta-analysis 飲酒と心血管疾患患者の死亡 -メタ解析	
執筆者	
Costanzo S, Di Castelnuovo A, Donati MB, Iacoviello L, de Gaetano G.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Am Coll Cardiol. 2010 Mar 30;55(13):1339-47.	
キーワード	
飲酒、心血管疾患患者、メタ解析、二次予防	
要 旨	
目的： 本研究の目的は心血管疾患既往のある患者における飲酒と総死亡の関連を量的に評価することにある。健康人が恒常的に中等量飲酒することは心血管死亡と総死亡を低下させることは認められている。しかし飲酒と心血管疾患二次予防に関する大規模なメタ解析は存在しない。	
方法： PubMed と EMBASE を用いて 2009 年 10 月までの論文を集めた。54 の論文が見つかったが、本研究で選択したのは 8 研究で 16,351 人の心血管疾患既往患者が含まれた。二次予防評価項目は心血管死亡および総死亡である。対象研究はすべて前向き研究である。データは重み付けして二次元分数多項式モデルの最小二乗回帰にて解析した。	
結果： メタ解析の結果、心血管死亡は飲酒量が 26g/日において最小となる（平均 22%低下）J 字型曲線を描いた。総死亡の解析では全データの解析(5～10 g/日の飲酒で最大の効果が見られ、平均 18%の死亡低下があった) および患者疾患別、各研究別の解析でも J 字型曲線を描いた。	
結論： 心血管疾患既往患者において少量から中等量の飲酒(5～25 g/日)は心血管死と総死亡を有意に減少させた。	